

チャレンジ項目記入数 6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		毎月1回の定例会議、スタッフ間の情報共有をし、地域に愛される町のパン屋をスローガンとし、現状の課題点や改善点の共有を行っている								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社内SNSや掲示板等にて、食品衛生法に関する法令順守や、働き方改革(両立ひろば登録済)、コンプライアンス、労働基準法に基づく労働時間遵守など重要性をスタッフ全員に発信している																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為を含む行動規範の整備と研修を行っている											10							16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		社会・環境に及ぼす影響として、食品を扱っている為、食品衛生法に基づく管理体制として、食中毒の防止、食品安全管理方法の徹底、アレルギー表示の徹底など、管理担当者として、責任者とCSR管理者を選任している																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		製品開発における他事業者の特許侵害等を弁理士に確認し、自社の技術が流出・模倣されないように管理を行っている								8.2 8.3	9									16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報に関する基本方針を定め、社内研修を行い、周知徹底を行っている																		16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		生産者・取引事業者・販売先等に現状分析や要望、ニーズ等、定期的に協議を行っている																	16 17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		食品仕入れ事業者に対して、受発注管理と食品の品質管理を共有しており、問題点など各事業者の責任者と共有しており、スタッフへの教育等行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1					16 17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用・教育・昇進・福利厚生などの雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営者が積極的に関与、課題を把握した場合は改善を実施している				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		社員向けの労働安全衛生講習会の実施、社内SNS等を活用し、体調管理の声かけや、ヒヤリハット事例の共有を実施している			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		パートタイム・有期雇用労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を実施している					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		過度な長時間労働の防止・家庭と仕事のワークライフバランスの調和を図る為シフト管理システムの活用で労働の見える化を実施している			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		職務や役割に応じた研修体系の環境を整備している。今後は、資格取得の報奨金制度の導入を検討する				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		法定健康診断対象外の社員の会社負担による健康診断の実施と、外部キャリアコンサルタントによる相談窓口を開設し、社員への利用促進を実施している			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		労働時間を固定せず、時間単位、作業単位の業務に区分することにより高齢者や子育て中でも就労可能な環境を整備している			4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●					3						8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●						3	4				8	9.1		11	12					
	21	【プラット企業】 ・プラット企業に認定されている。	●								8	9			12								

チャレンジ項目記入数 6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		食品製造時における野菜や果実の皮や種、製品として販売できない規格外のパンなどの廃棄物の種類・量などの把握による廃棄物の削減、徹底した製造計画による余剰製品ロスの削減への取り組みを実施している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		令和4年4月より、省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画の策定と取組を実施している 配送等の運行管理の徹底によりガソリン使用量を管理し、配送ルートの見直しによるコスト削減の実施に取り組んでいる							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定取組を実施している マイバックご利用時の値引きなどにより紙袋やリーフレット等の紙製品の使用量を削減し、製造・運送量の削減に取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		環境に配慮しエコパックの推進や、食材の簡易梱包等のサービスを提供している						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		リサイクル可能な素材の紙袋の利用と、紙袋の回収を実施している								9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		製造機材洗浄前のふき取りによる、洗剤使用量と水使用量の削減を実施している		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		紙によるチラシ、販促物、ポイントカード削減のためデジタルサイネージの導入やSNSによる情報発信、ポイント管理を実施している								9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		製造した食品の売れ残りや、アウトレット商品(規格外商品)を活用して2次加工商品製造を行い、食品ロスの削減の取組を実施している	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		海洋汚染につながるプラスチック製容器包装への対応として、衛生面は重視しつつ、必要最低限なプラスティック商品(資材)の利用以外は、再生可能な材料資材を利用し、また商品仕入れに対しても、プラスチック容器から環境負荷の少ない瓶製品や再生可能な容器に入った製品の利用を実施している												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		食材の賞味期限や消費期限を保管場所毎に明記し、在庫補充の際には古い在庫を前面に入替を行なっている。また、異物混入を防ぐ為に、予め全スタッフに配布された、従業員ハンドブックに記載してある「身だしなみのこころがまえ」に沿った服装で入場し、時間帯現場責任者が指差し呼称を行なながらチェックを実施している。また、食中毒防止の観点からプラスチックチラーを利用することで、食中毒の危険温度帯を回避し、商品劣化を遅らすことでの商品の品質確保、品質改善を実施している				3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行なっている。	●		機器操作(特に危険機器)や、材料置場(整理整頓方法)、保管管理方法など誰でもわかりやすく大きく操作表記をし、スタッフ全員が直感的で安全な作業に従事でき、0災職場でストレスフリーな職場環境整備の実施をしている									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		当店の各種商品の原材料の基本は、「南阿蘇白川水源の水」と「天草の塩」である。新商品開発の際は優先的に県内で生産された食材を中心にしてレシピ設計を行なっている。また、製品化された商品は、食材の生産地域で販売も実施している		2.3	2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15	17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●									7						12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3	2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域の次世代を担う人材(学生・子ども等)への交流・育成機会(キッズスクール等)を提供している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		ハザードマップの確認、避難行動計画の策定を実施している				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行なっている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		地域の新聞販売店様と協力し、子供たちの職場体験の受け入れを実施している				4				8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行なっている。	●		アルバイト採用の学生や若年層に対し、正規雇用の受け入れ体制を整備するほか、職業相談、関連企業間での人材交流を実施している				4.4				8.5 8.6								17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。